

## 金融機関から融資を受ける場合

突然ですが、質問です。

「真の資金不足」の原因を理解している経営者及び金融機関の担当者  
は本当にいると思いますか？

例えば、下記の資金別貸借対照表をご覧ください。

(単位：万円)

現金預金	〔 損 益 資 金 の 部 〕			
500	費用の額	500	収益の額	1000
	計	500	計	1000
	〔 固 定 資 金 の 部 〕			
△100	固定資産	200	資本金	100
	計	200	計	100
	〔 売 上 仕 入 資 金 の 部 〕			
△400	売掛金	600	買掛金	200
	計	600	計	200
0	安定資金計			
	〔 流 動 資 金 の 部 〕			
100	未収収益	0	短期借入金	100
	計	0	計	100
100	合計			

この会社の場合、資金不足の原因は売上仕入資金の不足です。

(資金会計理論でいう「勘定合って」「銭たらず」の会社ということになります)

即ち、**売上仕入資金のサイト負が原因です。**

このサイト負のマイナス400万円は、回収可能な資金なのでしょうか。売掛金は貸倒等がなければ必ず回収できるのだから、資金の不足の原因にはならないという答えが返ってくると思います。

しかし、この答えは本当なのですか。もう一度じっくり考えてみましょう。確かに、売掛金を点として考えれば末々後の翌々20日現金支払の場合は回収できていることになります。

ただ、継続企業である事を前提とした場合では、2ヶ月と20日分は企業が存続する限り、掛売の資金幅はあるが回収できない資金です。従って、このマイナス400万円を補填する必要があります。

**これを資金会計理論では、  
「資金のバランスをとる」といいます。**

どの資金で資金バランスをとるかによって企業の財政状態が大きく変化します。資金繰りを見直す際は、是非ご検討ください。